

令和元年度 第2回総合教育会議

日 時：令和2年2月3日（月） 10：00 開会

会 場：芦屋町役場3階 課長会議室

— 次 第 —

1 町長あいさつ

2 議 題

（1）芦屋町さわやかプロジェクトについて

（2）令和元年度の取り組み状況について（中間報告）

（3）令和2年度総合教育会議の協議事項及びスケジュールについて

【案】

回	日 程	議 題	備 考
1	8月上旬	・事務の管理及び執行状況についての点検及び 評価報告について	
2	2月	・次年度の取り組みについて	

（4）その他

シビックプライドの醸成

シビックプライドとは、自分の住んでいるまち、または働いているまちに「誇り」や「愛着」を持って、自らもよりよいまちづくりに参画しているという気持ちを持つということです。

あしやの伝統文化に触れ郷土を想う心を育てます

呈茶体験や芦屋釜の歴史を学び地域のよさを感じます。



八朔の馬やだごびーなを作ることを通して地域の方と交流します。



価値ある夢・希望・志を持った若者

確かな学力と学ぶ意欲を持った若者

豊かな心とたくましさを持った若者

目指す子ども像

芦屋町さわやかプロジェクト

子どもたちを、さわやかな若者に育てようプロジェクト

★ 保・幼・小・中と家庭・地域との連携で芦屋の子どもは、芦屋で育てよう！

豊かな心の育成

- 語先後礼(先にあいさつ、その後にお辞儀)の推進
- 心に響く道徳授業の工夫
- 頑張り、努力する気持ちを育てる「鍛えてほめる」指導
- 小6・中3のあこがれモデルの育成と行事で高める学校の一体感

特別支援教育

- 保・幼・小・中の連携と乳幼児期からの一貫した支援体制
- 専門家の巡回相談と早期相談・早期支援の実施
- 授業のユニバーサルデザイン化、個別の教育支援計画の活用
- すくすくファイル(成長の記録)の活用

体力づくり

- 「鍛練」を意識した学校行事と体育の授業の実施
- 食育の推進を図る「残食0」と自分でつくる「弁当の日」の取組
- 運動の日常化を図る体力アップシートの活用
- 早寝・早起き・朝ご飯運動の推進

家庭・地域では子どもをそっと見守り、たくましく、すくすく育つよう導こう

家庭では、宿題や読書の時間を確保するために、スマホ・テレビ・ゲームの使用時間を1日1時間未満にしましょう。

地域ボランティアによる「読み聞かせ」と「うち読」(家庭読書)で想像力や感性を磨きましょう。

学力向上

授業規律の徹底とICTを活用して「分かる授業」を推進し、家庭学習で基礎学力の定着を図ります。

全校で、学習規律の徹底を図るために「3つの構え」を重視しています。

3つの構え

- ☐ 「物構え」 学習の準備
- ☐ 「身構え」 正しい姿勢
- ☐ 「心構え」 授業への切替え

電子黒板で画像や動画を見ることで学習への興味・関心が高まります。



タブレットで自分の考えと友だちの考えを比較して考えを広めたり深めたりします。
※家庭でもタブレットを使って復習します。



「脱ケータイ・スマホ宣言」、
そして家庭ではノーテレビ、
ノーゲーム、読書活動の
推進をお願いします。

いつでも
7か条を
実践しよう

いつでも7か条

※ 語先後礼
先にあいさつをし、その後
お辞儀をするあいさつの方法

語先後礼のあいさつが
できる子に育てよう

ひと はなし き
人の話を聴くことが
できる子に育てよう

ただ こと ば
正しい言葉づかいが
できる子に育てよう

せいそう かた
清掃や片づけが
できる子に育てよう

しごと やくわり
仕事や役割を
やりとげる子に育てよう

やさ おも こうどう
優しさと思いやりのある行動
ができる子に育てよう

ルール・マナーを
守る子に育てよう

価値ある夢・希望・志を持った若者

たし がく りよく まな い よく
確かな学力と学ぶ意欲
も わか もの
持った若者

ゆた　こころ
豊かな心とたくましさを
も　わか　もの
持った若者

どの子どもも多くの可能性を
秘めています。

楽しく子育て、伸びる、
できる支援を家庭でも！

学校

れんけい たいけん たんれん
連携・体験・鍛錬

地域

家庭

よさカードを
広げよう

よさカード

家庭や地域で、子どもたちの「よさ」を見つけて、「よさカード」に記入し、よさボックスに入れて下さい。投函された「よさカード」は町報や学校だよりなどで広くお知らせされ、子どもたちにカードのメッセージが届きます。※「よさカード」は町内の各学校、公民館等に置いてあります。

め　　ざ　　こ　　ぞう
目　指　す　子　ど　も　像

子どもたちを、さわやかな若者に育てようプロジェクト

あし や まち
芦屋町さわやかプロジェクト

ご せん ご れい きょういく にほんいち まち
～語先後礼で、教育日本一をめざす町～

こころ きょう い く
心の教育

- 規範意識の高まりを重視した
こころ こころ ひび ひび 心 こころ に に 響 ひび く く 道徳授業 どうとくじゅぎょう の の 工夫 こうふう
- 友だちとの関係や進路に関する相談時間の充実
とも とも かん かん けい けい しん しん ろ ろ かん かん そう そう だん だん じ じ かん かん じゅう じゅう じつ じつ
- 社会のマナーやルール指導の徹底
しゃ しゃ かい かい し し どう どう てい てい
- 家庭での役割決め・いつでも7か条の推進
か か てい てい やく やく わり わり き き い い つ いつ で で も も 7 7 か か 条 じょう の の 推 すい 進 しん
- あしや学の学びによる地域・郷土を愛する
こころ こころ いく いく せ せ の の 学 がく び び による による 地 ち 域 いき ・ 郷 きょう 土 ど を を あ あい する する

が く りょく こう じょう
学力向上

- 芦屋町学力向上推進プランの実践
あし や まち か り ゅ く こ う じ ゅ う す い ン さん
か て い が け し ゅ う ど け し ゅ う か ん か く り つ
- 家庭学習の定着と読書習慣の確立
せ い か つ が く し ゅ う き り つ か く り つ
- 生活リズム・学習規律の確立
み と お ひ と り ま な き ゅ う ど う ま な ふ り
- 「見通し」「一人学び」「協同学び」「振り返り」のある授業の実施
か え じ ゅ ぎ ゅ う じ し し
し ゅ う た い て き た い わ て き ふ が ま な じ つ せん
- 「主体的・対話的で深い学び」の実践
き ゅ う ぐ い く す い し ん じ ゅ ぎ ゅ う か つ よ う
- ICT 教育の推進と授業での活用

とくべつしえんきょういく

 **特別支援教育**

- 保・幼・小・中^{ほ　　よう　　しょう　　ちゅう}の連携^{れんけい}と乳幼児期^{にゅうようじき}からの一貫^{いつ　かん}した支援^{し　えん}体制^{たい　せい}
- 専門^{せん　もん}家の巡回^{か　じゅんかい}教育相談^{きょういく　そう　だん}と早期^{そう　き}発見^{はっ　けん}・早期^{そう　き}支援^{し　えん}の実施^{じ　し}
- 授業^{じゅぎょう}のユニバーサル^{か　こ　べつ}デザイン化、個別^{こ　べつ}の教育^{きょういく}支援^{し　えん}計画^{けいかく}の活用^{かつ　よう}
- すくすくファイルの活用^{かつ　よう}

たいりよく
体力づくり

- たいりやく体力づくりと^{せい かつ か}スポーツの生活化
- しょくいく食育の充実と^{じゅう じつ}「弁当の日」の実施
- はや ね早寝・はや お早起き・あさ朝で^{はん うん どう すい しん}飯運動の推進
- そと あそ外遊びと^{なか ま}仲間づくりの^{しょう れい}奨励
- ただ正しい^{たい そう し どう}ラジオ体操指導の^{てっ てい}徹底



芦屋中央幼稚園

《 豊かな心を育むために 》

- 元気に挨拶をする子どもに育てます
- 自分の事は自分でしようとする子どもに育てます
- 思いやりの気持ち、感謝の気持ちを持てる子どもに育てます
- 生命の尊さに気付き大切にする子どもに育てます
- 善い事や悪い事を理解できる子どもに育てます



愛生幼稚園

～みんなちがって みんないい～

- ☆ 「おはよう」の挨拶「ありがとう」の感謝が自然にできる子を育てます。
- ☆ 静かに話を聴く子どもを育てます。
- ☆ 友達を思いやる「心」 命の「大切さ」に気付く子どもを育てます。

神様の愛に満たされた中で、ひとりひとりの個性を尊重し、家庭と園と地域の連携で「豊かな心」「生きる力」を育てていきます。



芦屋保育園

保育理念：「愛と真心」を持って
「乳幼児（おさなご）中心の保育」を実践する

園目標：生きいきとした子どもを目指して
「よい環境でよい保育を」「よい生活習慣と健康を」
「豊かな感性と創造性を」
子どもたちにとって、より良い環境を整え
家庭と園で協力して子どもたちの心と体の
豊かな育ちを支えていきます



若葉保育所

季節の自然の中で様々な体験（あそび）

- ① 「ありがとう」と感謝の気持ちを持つ！
- ② あらゆる生命の尊さを知る！
- ③ 充実感や達成感を味わう！
- ④ 心身ともに健康になる！
- ⑤ 自立及び協調の態度を身につける！
- ⑥ 自然、社会の事象に関心を持ち考える！
- ⑦ 言葉が豊かになる！
- ⑧ 豊かな感性や表現力、創造力が育つ！

感性を磨き、個性を尊重しながら可能性を引き出し、生きる力の基礎を養います。



芦屋小学校

「知・徳・体の調和がとれ、たくましく生きる力を持つ子どもの育成」を教育目標とし、3つの鍛錬を目的とした取組を推進します。

- ① **あたまたの鍛錬～学力向上プランを基に学力を高めます。**
 - 算数科を中心とした指導方法の工夫
 - 読書活動の充実と学ぶ意欲の向上
 - 補充学習，家庭学習の工夫
- ② **こころの鍛錬～高学年が「あこがれモデル」となり、豊かな心の育成に努めます。**
 - 「あいさつ・そうじ・ことばづかい」の日常的推進
 - 自主性を図るたてわり班活動の推進
 - 「あしや学」を活かすシビックプライドの醸成
- ③ **からだの鍛錬～体力向上プランを基に体力を高めます。**
 - 体育科学習等での鍛錬の場の設定
 - 健康についての関心を高める食育の充実

ほ い く えん し ょ よ う ち えん

保育園(所)・幼稚園・

し ょ う がっ こ う ち ゅ う がっ こ う

小学校・中学校が

れん けい こ

連携して子どもを

の

伸ばします。

10校(園・所)で4半期ごとの目標にチャレンジしています！

4月 6月	さわやかなあいさつと正しい言葉遣い ^{ただ ことばづか} をしよう
7月 9月	望ましい生活習慣 ^{のぞ せい かつしゅうかん み} を身につけよう
10月 12月	相手の立場 ^{あいて たち ば た} に立って考え行動 ^{かんが こうどう} しよう
1月 3月	公德心 ^{こうとくしん も} を持って、よりよい社会 ^{しゃかい} づくりに貢献 ^{こうけん} しよう

よさカードで

- 子どもたちのよさを見つけよう
- 子どもたちのよさを子どもに届けよう
- 子どもたちのよさをみんなに広げよう



芦屋町山鹿保育所

「たくましく生きる力を持った子どもを目指して」

- ☆ よい環境で、よい保育をする
- ☆ 規則正しい生活習慣を確立して、健康な心と体づくり
- ☆ 豊かな心を育て、感性と創造性を磨く

元気に遊ぶ子・働くことが好きな子・自分で考える子を育てます
家庭との連携を大切にします
地域の子育てを支援します
食育テーマは『楽しく食べよう』です



山 鹿 小 学 校

教育目標：心身ともに健康で自ら学ぶ子どもの育成
合い言葉：やる気・まじめ・がまん

「チームやまが」で、**やまが3プロジェクト**（学力向上プロジェクト、オンリーワンプロジェクト、体力向上プロジェクト）を推進し、上記教育目標の達成を目指します。

- 1 学力向上プロジェクト（確かに学ぶ力の育成）**
 - 基礎・基本の確実な定着と活用する力を育む授業の実施
 - 習熟度別等による少人数授業の実施
 - ICTを効果的に活用する学習の実施
- 2 オンリーワンプロジェクト（シビックプライドの育成）**
 - 「礼儀・勤労・伝統文化の尊重」等を重点とした道徳教育の実施
 - 学校の合い言葉を意識した学校行事や学級活動の実施
 - 一人一人の大切さが認められる集団づくりを目指した人権教育・特別支援教育の推進
- 3 体力向上プロジェクト（適切な栄養・栄養・運動の実施）**
 - 体力向上を目指した山小パワーアップタイム(業間体育)の充実
 - 体育科学習を中心とした健康教育の推進
 - 「歩いて登校・食缶ゼロ」の取組の推進

平成29年度より福岡県重点課題「健康教育」研究指定・委嘱を受け取り組んでいます。



芦屋中学校

校訓：自主・協同・創造

“自主”的に学び、“協同”意識を持って行動し、より良い芦中を“創造”しようとする生徒を育成します。

重点取組

《豊かな学力の向上》
学習規律の徹底と教室環境の整備。ICT機器の有効な活用と「ひとり学び」「協同学び」を設定した授業の実施。朝読書の徹底と補充学習の充実。

《丈夫な体と豊かな心の育成》
議論を中心とした道徳の授業の実施。生徒会活動の推進と生徒集会の定期的な実施。心を鍛える学校行事と部活動の充実。

《信頼される学校づくり》
校内外の研修への積極的な参加と人材育成の取組の推進。生徒一人一人を大切にした生徒指導の充実。学校・学級の取組の地域・保護者への積極的な発信。

《シビックプライドの醸成》
校歌を通しての愛校心の育成。語先復礼による「あいさつ運動」の推進。小中一貫教育（小中交流・情報交換等）の充実。



芦屋東小学校

「心身共に健康で、自主性・創造性に富み、みんなと共に努力し、たくましく生きる子ども」を育成します。

- ① 確かな学力を身につけさせるために、日々の学習に一人学びと協同学びを位置づけたり、少人数指導をとり入れたり、ICT機器を活用したりすることで特に基礎基本の定着に努めます。
- ② 豊かな心を育成するために、3つの心「あ・あ・す（あかるい・あきらめない・すなお）」の育成に努め、特に挨拶・返事・掃除に重点的に取り組みます。高学年を手本とした協力できる縦割り班活動に取り組みます。健やかな体づくりのために「早寝・早起き・朝ごはん」の取組や体育科学習指導の充実に努めます。
- ③ シビックプライドを醸成するために、芦屋の「ひと・もの・こと」を活用して「芦屋学」を推進し、魚道・茶道、書道、箏道などの学習を行います。6年生は地域での職場体験を行います。



緑ヶ丘保育園

保 育 目 標

- ☆生き生きと遊び物事に意欲的に取り組む子ども
- ☆豊かな感性をもつ子ども
- ☆よく見て、よく聞いて、自分の思いを伝えることができる子ども
- ☆人や自然、物を大切にする子ども